

支部年繁要求に対する回答示される!

要求項目	回 答
<p>1 失敗の許されない年末年始繁忙を迎えるにあたり、挙局体制で成功させていくための局としてのメッセージを示すとともに、全職場での共通認識とする努力をされたい。</p>	<p>今期年末年始はゆうパックリニューアル実施後初めての年末年始であること及びアクションプランの最終年度として、「真つ向勝負の年」でありお客さまニーズに即したサービスを提供するとともに、業務改革を成し遂げるため「サービスアップ」「コスト削減」「品質管理の向上」の3項目を柱として、ゆうパックリニューアルの定着を含め、全職員が一丸となって取り組むこととする。</p>
<p>2 年末始業務運行に関しては、事前の対策・準備、体制確立から、具体的実践の各期間を通じて、労使が共通認識で取り組むことが重要と考えます。 今期からはコミ・ルールが改正され、実施後の評価と反省を踏まえた意思疎通と情報の共有化が重要、かつ、不可欠です。 今後とも現場段階の課題について提起することとなるので、特段の努力を要請しますので、局としての考え方を示されたい。</p>	<p>今年年末年始は、新コミ・ルール適用後初めての年末年始であり従前にも増して重要な年繁期と認識している。 早期に取組体制が確立できるよう、実質的な意見交換を十分行い、万全な体制を確立していく。</p>
<p>3 今期年末始繁忙は、昨年度と異なる特徴を踏まえて、各職場で具体的計画に現場の知恵をいかに反映させたものとするかが、重要であると考えます。 また、年末始繁忙に関する業研等の具体的周知が不十分なままで本番を迎える問題点が毎年指摘されています。 各職場で全職員・ゆうメイトに対して、事前に十分な理解と認識がはかれる業研等を各課の責任で実施すること。</p>	<p>今期年末年始の重要性に鑑み、業務運行確保施策の推進にあたっては十分検討し計画策定するとともに、職員・ゆうメイトに対し、十分な理解と共通認識が図られるよう業務研究会等を行っていくので協力されたい。</p>
<p>4 今期年末始繁忙は、勤務時間見直し施策実施後に初めて迎えることとなることから、例年にも増して繁忙期間中の勤務のあり方に注目するものです。 以下の点について、局としての考え方を示すこと。</p> <p>(1) 深夜勤については、健康確保の観点から、非常勤職員を含めた総合的な体制づくりにより、属人的に平常時と同じ回数とすること。</p>	<p>上限の範囲内とし、属人的に偏ることのないよう配慮していく。</p>
<p>(2) 超勤・休日及び非番日労働などは、できる限り早期に基本計画を各職場に示すとともに、自部課に限ることなく、挙局体制を意識した計画（要請）を意識すること。 また、緊急事態等への対応時以外は、深夜勤の前後の超勤は、自粛すること。</p>	<p>年末繁忙期に限らず、各部課の状況を的確に把握し、他部他課応援を含めて挙局体制で臨むこととしており、真に必要な労働力の確保のために超勤等の命令を行うので協力されたい。 なお、連続する夜間勤務における時間外労働は、真にやむをえない場合は命令するので理解されたい。</p>
<p>(3) デパート小包、新棟、年賀室における各専担者の派遣期間中の勤務指定は、深夜勤回数が属人的に片寄ることがないように作成するとともに、時間外労働は極端に過重とならないよう配慮すること。</p>	<p>勤務指定の作成にあたっては公平性に配慮していく。 また、時間外労働は真に必要な労働力確保のため命令を行うので協力されたい。</p>
<p>(4) 年末始繁忙期間中の勤務指定表は、職員の健康と生活リズムを考慮し、2指定をトータルで提示出来るよう各職場を指導すること。</p>	<p>出来る限り配慮する。</p>

要求項目	回 答
<p>5 年末始繁忙期間中は、平素にも増して、勤務時間の適正管理が強く求められる時期であると考えます。局・管理者の責任において、実効ある具体的な体制確立をはかるとともに、不払い労働撲滅に向けた決意を示されたい。</p>	<p>勤務時間管理については平素から適正管理に務めているところであるが、繁忙期間中においても適正管理を徹底していくこととする。</p>
<p>6 年末年始における営業推進に関して、施策ゆうパック・年賀葉書等の自販販売状況の繰り返しのみならず、終始し、自局や全体の営業収入状況や販売計画がどうなっているのか、全職員にきちんと説明理解をはからせる努力がたいへん不十分な実態を改善されたい。 また、自腹営業とならないよう指導を徹底し、別途説明とされている郵便営業推進施策について、早期に明らかにされたい。</p>	<p>日常業務においても、営業と品質管理は、お客さまに約束したサービスを確実に提供する上で一体のものであり、事業の置かれている現状を十分認識し、全職員が一丸となった営業活動を展開する重要性を認識するとともに、管理者等による職員対話・指導、業研及びミーティング等による周知に努めながら、更に営業力の向上を図っていくこととしている。 なお、郵便営業推進施策については、策定次第説明する。</p>
<p>7 健全な経営基盤の確立をはかるとともに重要施策として展開されているJPSの推進にあたり全職員が一体となったとりくみが何よりも肝要と考えます。 しかし、JPSの考え方、改善の目的などを理解と納得で一体感をもって進めるための努力を忘れ、上意下達の従来手法で進めるならば、十分な効果が得られないばかりでなく、継続したとりくみとされている今後のJPSに弊害が生じることとならないか危惧します。 特に原単位方式導入のモデルとして進められようとしている第二普通郵便課に関して、年末期の導入は業務上の混乱が想定されています。 局としての考え方を示されたい。</p>	<p>JPSは作業工程の「ムダ・ムラ・ムリ」を排除して生産性を向上していくことを目標としており、全職員の知恵と行動力により成功させなければならない。 それぞれの職場でできる改善について一人ひとりが積極的・主体的に取り組むこととしており、JPS推進にあたってはこれらも職員と一体となって推進していく。 なお、第二普通郵便課については、職員の意見を聴きより良い方法で推進して行くので理解の上協力願いたい。</p>
<p>8 江東区取集開始、新砂分室の廃止と新棟の活用による取集便や運送便の集中および大口窓口差出のトラック等による局周辺・局内の渋滞緩和策について具体的に説明されたい。</p>	<p>局周辺及び局構内の渋滞緩和策については待機車線の設置、構内誘導員の配置等対処するとともに委託業者等への説明指導を行って行く。 なお、具体的内容については別途説明する。</p>
<p>9 年末始繁忙期間中の新棟を含めた局内レイアウトについて早期に説明すること。 新棟については、自動販売機（飲み物・軽食・タバコ等）、休息スペース（禁煙・喫煙別）等の充実に配慮すること。</p>	<p>年末始業務期間中の局内レイアウトについては策定次第説明することとし、また、新棟の厚生施設の充実については配慮しているところである。</p>
<p>10 長期ゆうメイトの補充、年末始繁忙期の短期ゆうメイトについて、良質なゆうメイトを確実に確保すること。 また、各部課、勤務種類別に、採用期間と採用予定人数について、組合に説明すること。</p>	<p>非常勤職員の確保については、現在、対策本部を設置し対応しているところであり、業務上必要な非常勤職員を完全確保することに努めている。</p>

《おしらせ》

新潟、十日町郵便局に転勤した

登坂さんに愛の手を～！

被災者に
愛の手を！

清酒八海山 (720ml×2本) セット

奈良漬付 (片瓜+キュウリ、各1本)

3500円

消費税・郵送料込み



☆新潟へおもちも
あります! (1kg.
1,700円～)

☆くわしくは支店まで～!

☆切は12月8日までです。

日 刊	新東京	NO.3733	2004年/2月2日(木)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

民営化反対申し入れ

JPU,全郵政が「民営化反対の決議」と申し入れを行ないました。
その内容は次のとおりです。

内閣総理大臣
小泉 純一郎 殿

郵政事業に関する労組政策協議会
日本郵政公社労働組合中央執行委員長 菰田 義憲
全日本郵政労働組合中央執行委員長 宮下 彰

郵政民営化に対する意見書

私たちは、郵政公社職員を代表する立場にある労働組合として、郵政民営化に関し政府の説明を求めていたことに対し、11月16日、両組合委員長と竹中大臣との会見がようやく実現しましたが、16日の会見での説明を経ても、郵政事業の経営が成り立ち、雇用・労働条件が確保されるとは合理的に理解納得できる状態には至らず、むしろ一層不安が募った次第です。そこで、以下の事項について、新たに意見書を提出いたしますので、11月30日までに、文書でご回答いただくようお願い致します。

記

1 何のための民営化かの説明が不明確であり、民営化ありきのマスコミ報道等、私たちから見ればアンフェアな状況の中において、拙速に法案策定作業が進められていることには納得いくものではなく、中央省庁等改革基本法の第33条第6項の「民営化等の見直しは行わない」という規定に対し、「論議することは法に反しない」と言いながら、民営化の方針を政府自らが決定したことは基本法に反するものと考えます。郵政民営化を優先事項と考えているのは国民の2%程度しかなく、基本法に反してまでも実施しなければならない理由は何か、納得いく回答を求めるものである。

2 郵政事業は三事業とも公共サービスとしての機能を有し、国営事業としての使命を十分果たしており、日本で進んでいる高齢社会に対応するには、民間の金融機関が店舗等を撤退している中において郵便貯金事業は不可欠であり、簡易保険事業についても、保険加入に際し職業制限がないなどのユニバーサル

サービスとしての機能を十分に発揮している。

総理の言われる「民間で出来るものは民間で」という考えだけで全てのものが進められた場合、結局は国民への利便性と公平性が損なわれていくだけであり、弱肉強食の世界を創り出すに過ぎないと考えるが、考えを明らかにされたい。

3 政府での議論は、新会社には民間企業としての税金や預金保険料等の負担を全て求めつつ、貯金の預入限度額や保険の加入限度額は新旧合計で据え置き、新規業務も段階的にしか認めないなどイコールフットリングの原則に反するものとする。また、政府出資が残る間は「暗黙の政府保証」が残り、貸出等の業務は認められないとの議論があるが、公的資金を注入している民間企業も国民から見れば「暗黙の政府保証」があり、公的資金が残っている間は貸出業務を控えるべきということと同様である。貸出に問題があるというなら、民営化自体に問題があるということではないのか。

4 政府では、郵便、貯金、保険会社と窓口会社との間の業務受委託は契約の自由にゆだねればよいとの議論をしているが、その場合、窓口会社の大半の事業収入がなくなる事態が予測される。生じないと考えているなら具体的な根拠とデータを明らかにされたい。

5 基本方針では、窓口会社の業務として、民間金融機関からの業務受託、小売サービス、旅行代理店サービス、チケットオフィスサービス、介護サービスやケアプランナーの仲介サービス等が掲げられているが、これらの事業成立性について具体的にどのような検討をしたのか、責任ある回答を示されたい。

6 職員は、各種採用試験に合格した上で、国家公務員として採用されており、郵政事業の使命を認識し、国民全体の奉仕者として公共の利益のため、全力を挙げて職務に専念している。国家公務員としての身分を職員の同意なく変更することについて、政府の考え方を明らかにされたい。

また、労働組合と政府との間で責任ある交渉をどのように進めていくのか明らかにされたい。

7 政府の議論を見ると、事業の成立性についての検討が甘く、制度設計としては不十分であり、ましてや民営化を進める上での5つの基本原則を満たせるビジネスモデルが描けるとは考えられず、国益と社会のセーフティネットとしての役割を考えた時、独立採算で企業性と公共性を持って健全な事業運営をしている現在の公社形態が一番よさわしいと考える。何故、国民の利便性や経済の活性化につながる改革を、郵政公社のままで出来ないのか納得いく回答を求めるのである。

以上

日

刊

新東京

NO.3735

2004年12月6日(月)

日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会

03-5690-2847

内線 4163

民営化反対を訴えるキャラバン行動展開中

郵政事業に関する労組政策協議会（J P U、全郵政）は 11 月から、全国で郵政民営化反対のキャラバン行動を展開した。J P U はキャラバン隊の最後のアピール行動として、12 月 1 日より、都内で本部キャラバン隊の活動をスタートさせた。

J P U 本部前での出発式では、本部役職員に加え、ポスライフ（共済生協）の協力を得て、盛大に宣伝カーの出発を見送った。宣伝カーの出発に先立ち、あいさつに立った本庄副委員長は「21 世紀に郵政三事業の全国ネットワークを残すため、全国の仲間の思いを一心に背負い、一丸となって行動しよう」と決意を述べた。

キャラバン隊は、午前中に J R 市ヶ谷駅、四谷駅頭でアピール行動を展開。正午には、日本郵政公社本社前で、菰田委員長を筆頭に、20 人以上の本部役職員に加え、応援に駆けつけた東京地本執行委員と本社支部組合員が民営化反対をアピールする宣伝ティッシュを配った。かたわら、菰田委員長はマイクを手に取り、「政府の民営化案の誤りを正し、三事業一体で郵政事業を維持しよう」と力強く市民に訴えた。

本部は 12 月 8 日まで、東京 23 区主要駅頭を中心に、市民に民営化案反対を呼びかける。



日 刊

新東京

NO.3737

2004年
12月8日(木)

日本郵政公社
労働組合
新東京支部
編集委員会

03-5690-2847
内線 4163

「サービスの質」とは……

JRの「10月ダイヤ改正」の影響で、今まではなかった朝晩の普通通勤電車に、2両分の「グリーン料金」が必要な車両が、あらたに生まれた。

この「グリーン料金」は乗車前購入が750円、乗車後購入が1000円と250円の差がある。

そして、利用状況といえ、乗客はまばらでいつも

ガラガラである。

そのため、通勤電車のその2両は数人の乗客とたくさんさんの空気、そのぶん他の車両に乗っている通勤客はまさに「痛執」地獄という状況だ。

また、サービスの向上のためか知らないが、停車駅の案内を日本語で放送した後、ゴテイネイにも英語の案内が流れる。眠くてウト

ウトしている時なんかは、ハツとして腹がたつほどだ。

翻って、今の郵政の職場を見た場合はどうだろう。

公社化以降の郵便事業は「物流部門のサービス業に徹する」ということを宣言して、さまざまな意識改革施策が実施されてきた……と思う。

トヨタ方式のJPSの推進もこの流れにある……と思う。

「目に見える化」や床にテープを張ることは、確かにスッキリして見える。「ムリ・ムダ・ムラの排除」は、当然必要だし、今までだつてやってきているのじゃないのか。(ムダを排除したので職場には余分なケースはない。必要なケースも……)

しかし、人間依存度の高い郵政職場にJPSが導入されて以降、職場では「なんかギクシヤクしているな」と感じている人が多いのも事実である。

思うにそれは、職場の合意形成をはかるという手順が抜けているのではないかと、まるっきりの上位下達式になっっているのが原因ではないのか、と感じる。

職場に流れている「二つの声」を克服して、郵便事業としてお客様との約束をキチンと守る。結束確保のため、真に必要なものはなにか。翌日配達はシツカリやっっているのか。

これから、年繁に入りませんが朝の痛勤電車ですと考えてしまいました。

JPU新東京支部 ホームページ開設

JPU新東京支部では、組合員との情報共有化と組合運動の活性化を目的に支部ホームページを開設しました。

支部紹介では、「新東京支部15年の歩み」をはじめ全通運動の歴史が簡潔にまとめてあります。

新東京ってどこにあるの？という人にもわかりやすく、写真をたくさん使った周辺紹介があります。

また、情報の共有化として「日刊新東京」のバックナンバーが掲載されています。

ぜひ一度、支部ホームページをのぞきにきて下さい。

http://www15.ocn.ne.jp/~jpu_137/

日本郵政公社労働組合 新東京郵便局支部

〒137-8799 東京都江東区新砂2-4-23

Tel.03-5690-2847

E-mail : jpu_137@hotmail.com

大変だよ小包

新棟が設備不十分の状態て開設された。

休憩室は個室ではなくて、ロッカーで囲い、テーブルの数も少なく、テレビのアンテナさえついていない状況だ。

本局のような暖房施設はなく、ストーブが置いてあるが、全体が吹き抜けのため全く暖まらない状況にある。

テーブルは何とか揃ったが、テレビは依然としてアンテナがない！

自動販売機も、あと一台設置されるようだが、いまだ設置されていない。

新棟は、ただ外枠をつけただけの倉庫！である。

出来たばかりの新棟に入った人は目が腫れて赤くなり、喉が痛くなったり頭痛がしたりと、体の異状を多くの人が訴えている。

床はいくら掃いてもホコリが舞い上がり、最近では内装のボン드가とれて綿のようなものが降ってきた。

その場で食事をしていた人はボ

ンドのふりかけを食べているのと同じだった。

新棟は工事終了後、せめて2ヶ月置いてから使用するべきではなかったのではないか？計画的に無理があつたと思うが・・・

職員も少なくして短期ゆうメイトも全然集まらない中で、開設当初に深夜勤をやつた職員は10時間も休みをとらないで！仕事し通しの状況に置かれた。あの地獄の深夜勤務ですよ。

こんな状態で四苦八苦ししている中『初日はちよつと混乱したみたいだね』程度の局側の発言。

そんな一言で済まされては、たまつたものではない。

開設してから2週間以上経過して、多少は仕事が落ち着いてきたが、未だに正規の休憩休息を休めないでいる職員が殆どだ。

短期ゆうメイトの時給も、昨年

より下がったようだが、短期ゆう
メイトが集まらないで年末繁忙を
乗り切れる訳がない。

同じ敷地内に新棟を建てたので
便の遅れは日常茶飯事！しかも訳
の分からない便が多く見受けられ
てんでこ舞いの状況。

挙げ句の果てに、東北からの便
で、8トントラックにバラ積状み
でビッシリと小包が来たりしてい
る。理由はパレットが不足してい
るからとのこと。

有証、速達、チルド、オーバー
ナイト、ワンデー、ゴルフ等々は
本局扱いなのに、新棟に到着して
いる。一体どうなっているのだろ
うか？

地方の局に、新東京局と新棟の
扱い業務が違うということがきち
んと知らされていないのではない
だろうか。そうであれば、責任の
所在はどこにあるの？

新棟に、支社の人達が10名位
応援に来たが、それでやっと業務

処理が回っている状態だった。

最近になって若干ゆうメイトが
増えてきたが、昨年の新砂分室と
は大きな違いだ。

業務的には、まだまだ混乱が続
くと思われる。

本当にこれから先どうすれば良
いのか誰か教えて欲しい！

もちろん、新棟で働く職員、ゆ
うメイトは最前の努力をしている
ことを付記する！

本局の小包部も大変です

本局でも要員不足の状況の中、
毎日のように管理者応援が入らな
いと結束が覚束ない状況が毎日
のように続いている。

チルドの扱い然り。各結束便の
扱い然り。デパートの扱い然り。
全てが混乱している！

先日、補助便（ワンデー）に
結束する書留の処理が間に合わず

1時間以上も延発するという状況
になり、運転手さんもあきれ果て
ていた。

書留処理をする職員もゆうメイ
トもないんだよ！

その結果、一般局にも影響がで
るのは必至のことである。

配達にかけるために必死になって
作業をしている事と思う。

お客さんにも多大な迷惑をかけ
て、小包郵便の信頼を失う事とな
り、公社が目指している小包郵便
のシェア拡大も覚束なくなる。

職場がこのような状況にある中
管理者の皆さんの目も血走ってい
て『ご苦労さん』の言葉をかける
余裕もないようだ。

お客さんあつての職場という話
も聞かされるが、汗水流して働い
ている職員があつての職場ではな
いだろうか。

日 刊	新東京	N03740	2004年12月13日(月)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

パレット不足していま～す!

支社からの回答によると、パレット不足については新東京から他管内あてに搭載したパレットが返送されていないのが、大きな原因の一つとしています。

東京地本は年繁交渉の過程の中で、支社に対しパレットの不足は毎年問題になっていることから、その管理については強く求めてきたところです。

支社は東京管内におけるパレットの管理については、10月から各局の数を把握しながら指導してきたが、何分、他管内への要請は本社を通じた指導が中心とならざるを得ないことから、現在の状況となってしまったとしています。また、管内各局にも用途外使用などの点検を含めて再度指導したとしています。

現在、緊急策として他管内からリースパレット(鉄パレ)600台、新規のリース(鉄パレ)として300台を入れるなどの措置を行っています。ただ、この措置はパレットの不足を補うのにはほど遠い数であり、配達局への直積みなども併せて行わざるを得ない状況にあります。

地本は支社に対し全力でパレットを集めるよう求めると同時に、本部を通じ本社にパレットの管理強化を行うよう求めています。

JPU新東京支部新春ボーリング大会

1月16日(日) 14:00～

日
刊

新東京

NO. 3741

2004年12月4日(火)

日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会

03-5690-2847

内線 4163

三宅島帰島に際する支援 カンパ及び連合愛のカンパ のとりくみについて

2000年9月の三宅島噴火災害による全島避難から4年3ヶ月がたちました。マスコミ等報道によってすでに承知のことと思いますが、来年2月には、全員帰島の方角で計画が進んでいるところです。

現在、郵便局では職員が一週間交代で三宅島に帰島し配達などの業務に従事しています。

実際、来年2月に帰島した場合、家財道具をはじめ全てゼロからのスタートとなります。

JPU東京は、三宅島支部組合員が島での生活を始めるにあたっての一助として、支援カンパを決定致しました。

また、例年とりくんでいます「連合愛のカンパ」についても合わせて取り組みたいと思います。

尚、集められたカンパについては、それぞれに配分して送金したいと思いますので、組合員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

締切は12月24日
(金)までです。

詳しくは支部・
分会役員まで！！



日 刊	新 東 京	NO 3743	2004年12月16日(木)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

勤務時間管理に関する実態調査について

12月13日、公社より標記のとおり勤務時間管理に関する実態調査を実施する旨、説明がありました。

地本は、今後東京支社と対応をはかり、具体的な取り扱いについて協議することとし、整理次第、実施方法等について各支部・総分会へ指導していくこととしますが、ひとまず、勤務時間管理の実態調査の取り組みについて組合員へ周知することとします。

1. 調査趣旨は、全局所の超勤支給対象職員を対象に本年10月1日以降の時間外勤務並びに週休日及び祝日の勤務（時間外勤務等）の実態に対し不払残業がないかを確認。不払残業が判明した場合は、追給措置を行うというもの。

2. 調査実施時期は、平成17年1月31日までに行う（対象期間は平成16年10月1日から同年12月31日）不払いによる追給は平成17年2月18日とする。

不払残業については、労働基準監督署の立ち入り調査や是正勧告が相次ぐなど労使共に責任が社会的に問われている中、昨年来より労使合意のもとに各種施策を講じてきている。

本部は、総合的労働条件改善案要求でも主要柱に置き、不払残業撲滅にむけた一層の改善・是正措置が求めてきた中で、この度、全局所を対象にした実態調査実施に踏み切らせたものである。

以上

日 刊	新東京	N0:3744	2004年12月17日(金)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

今、第一小包課では

この流れ早くどうにかして

まずは、第一小包課の作業分担から紹介しましょう、大口引受け窓口（デパートも含む）・到着フロント・南北到着ホーム・書留処理（全地域）・速達小包処理・拡域大収集・江東区大収集・江東新砂郵便局収集・エコパック処理・到着フライトコンテナの処理・チルド処理・ゴルフスキーの別処理・自局私書箱への交付（計理事務を除く）等数えたら14分

担もある。改めてビックリ、当然この分担に本務者一人一人付くかと思うがそれは無理なので一人2～3分担こなさなければならぬ、それにプラスゆうメイト（窓口・書留・チルドは必ず本務者配置）、でも本務者・ゆうメイトも付かない空家の分担が出てくる、それをカバーする事が出来ない事もたまにある。

↓
商品券の処理

今年は、色々な施策が実施され10月以前と以後では流れが大きく変化した、いつものことで伝上3号便は遅れて到着する為、地方への結束は毎日がギリギリか遅れて差立てる、延発で第三小包課と運転手さんに迷惑をかけている。

伝3・伝4の書留の処理が終わらないうちに23時になると12勤のゆうメイトの半分が休憩・本務者深1も16分の休憩に入ってしまう処理がどんどん遅れる、（この時間書留処理をしているのは本務者1～2名）毎日がこの悪循環である、特に極め付きは伝送1号便を差立てる時とその後のワンディ

(補助便・地方結束便)を差立てるまでである、(特に物数の多い火曜日の明けと要員配置の少ない日曜日の明け)まず都内結束最終便が毎日20分～30分遅れて到着する、開被をし一次区分二次区分と必死に処理をし、どうにか都内の書き上げを終わらせ差立て準備をする、地方は書き上げをぜんぜんやる余裕がない、5時になると深夜のゆうメイトさん全員が休憩(30分)に、また本務者深2全員が休憩(30分)に入ってしまう書留作業をしているのは1名～2名の本務者だけである、当然この時間から入ってくる都内からのワンディの有証パレット、開被する人がいない、都内伝送1号便を遅れながら結束しても次のワンディを処理する人が居ない。

ワンディの最終到着時間は6時、深夜勤のゆうメイトさんは5時45分に勤務終了・深1の本務者6時に勤務終了で、残った深2本務者(2名それこそ どうするワンディである)もうすでに何度か都内補助便1時間の延発^をしている。

第二・三小包課・運転手さん・都内各局に迷惑の掛けっぱなしである。

本務者・ゆうメイトさん一生懸命ガンバッテいるんですけど、どうにもならない。

システム・物の流れが変わっても要員配置・サービスの見直しをせずにこのまま行くのだろうか?早く変えてほしいです。

それに二小・三小・チルド毎日告一以上の応援異常ですね、何の為の年末年始計画なのか疑問を感じませんか?

(投稿)

JPU
ただ今、2005年版手帳画配布中

日 刊

新東京

NO 3745

2004年
12月20日(月)

日本郵政公社
労働組合
新東京支部
編集委員会

03-5690-2847
内線 4163

配達記録郵便物の未処理について

第2特殊郵便課では、配達記録郵便物の、結束を守っての処理が、もはや、お手上げ状態。特に夜中の便がひどい。

1時過ぎには閉め終わっていないければならない伝送下1。4時半過ぎには閉め終わっていないければならない伝送下2。どちらの便も、土・日曜日・祝日を除くと、結束が守れることはほとんど無い。

処理する人数が絶対的に足り

ない状態が続いている。

伝送下1で、本来入れなければならぬ郵便物を山のように残し、伝送下2はまずその処理から始まる。結局それで押せ押せになつて、伝送下2でも入れなければならぬ郵便物が処理できずに残ってしまう。

たいていの場合、その次の便、伝送小包補助下でようやく便と結束が追いつくということになっている。

一度、いちばんひどかった時

には、そのままズレが昼間の勤務までなだれ込み、きちんと結東できたのは夕方17時に課発の伝送下5だったという事態まであった。

どうにもこうにも、夜間・昼間にかかわらず、処理する人数があまりにも足りなすぎるのである。

こういう事態になつていゝことはじゆうぶんに把握をしていながら、何らかの対策をしようとする気配すら見受けられませぬ。

どうやら、最近では、「結束を守る」ということはどうでも良いことになつたようである……。

(投稿)

日
刊

新東京

NO 3746

2004年12月21日(火)

日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会

03-5690-2847

内線 4163

平成16年度年末繁忙 残り10日間

第二普通郵便課では、5月からのゆうメイトの補充が厚物35名・棚物29名(12月1日現在)ありました。

しかしながら11月からほぼ毎日のように告一以上・普通部・他部課から応援等で業務運行がcaろうじてできたという状態であり、年末繁忙にはいり厚物短期ゆうメイトが数名入っただけで、棚物短期ゆうメイトがひとりも集まらない状態です。

15日より年賀室が開設され職員17名が、年賀選担として元旦配達を義務として業務をこなさなければならない。年賀室もゆうメイトの集まりが悪いと聞きます。二普の現場も毎日の結束(地方・都内)に苦労を重ねながら頑張っているところである。

今、現場ではゆうメイトをはじめ職員に超勤・休日出勤を要請しているところです。

去年の年末繁忙と違うところは職員にも超勤・休日出勤があることです。

これから10日間年賀を中心に応援要請がかかると思いますが、他部課の職員の皆さんと力をあわせて乗り切っていきたいと思ひます。それでもゆうメイトの集まりが悪いことから不安が残ります。

(Y・T)

2005年1月16日(日)
ボーリング大会
皆さんの参加をお待ちしています

日 刊	新東京	NO 3748	2004年12月24日(金)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

2005 新東京支部

新春ボウリング大会

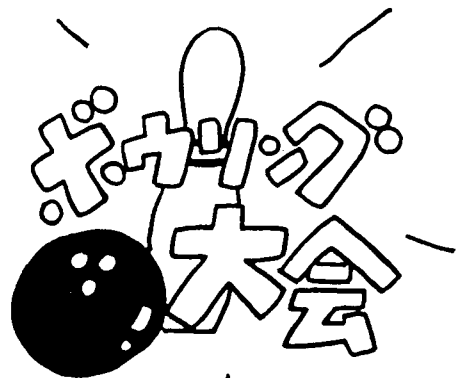
ゆづりタイムさんOK!

とき 1月16日(日)

受付開始 13:30

ゲーム開始 14:00

ゲーム後表彰式(懇親パーティー)



ところ 錦糸町 『ロッテボウリング』

錦糸町駅南口、旧『ロッテ会館』

参加費 2,000円(ゲーム代・貸靴代+パーティー・飲食代として)

◎ 第1次集約 12月31日(金)

◎ 最終集約日 1月7日(金)

本日をもって「日刊新東京」は年内休刊とさせていただきます。

新年は1月6日より発行します。

なお、1月1日は発行します。

新年もよろしくお願ひします。

教宣部

